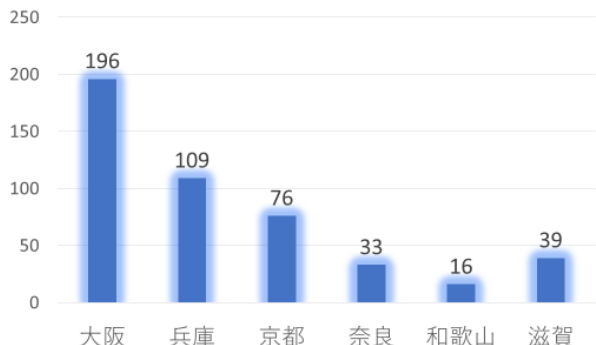


近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況

研究分担者: 大阪大学大学院医学系研究科 望月秀樹

2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(依頼状況)

各府県調査依頼状況(計469件)



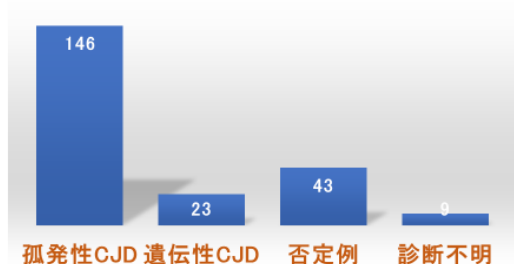
2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(調査済み)

各府県調査調査済み状況(221件)



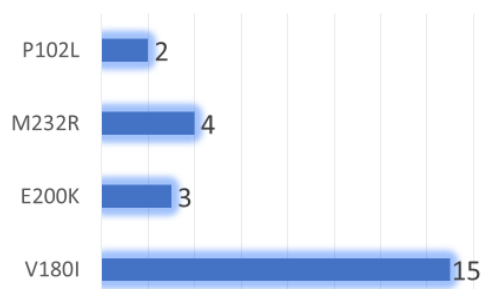
2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(調査済み)

調査済みサーベイランスの診断(221件)



2015年度以降の近畿ブロックにおけるプリオン病サーベイランス状況(調査済み)

遺伝性CJDの診断内訳



1例はV180IとM232Rのdouble mutationであった。

解説

近畿ブロックでは469例分の調査依頼があり、今年度も都道府県担当専門医を通じて各施設への働きかけを行った結果、2021年9月末までの時点で221例から調査結果の回答が得られた。